

## 事業成果報告書

### 〔取組Ⅰ〕 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 福岡県教育委員会
2. 取組の名称 : 福岡県小中一貫教育調査研究事業

#### 3. 事業の実績

##### (1) 事業のねらい

中1ギャップの解消、学習意欲の向上、チャレンジ精神や自尊感情の高揚等の一方策となり得る小中一貫教育について、協力町の教育委員会及びモデル校における取組の成果と課題を分析するとともに、県内の先進的取組事例を収集し、福岡県小中一貫教育の手引を作成することによって、本県の市町村における小中一貫教育実施に係る取組を支援する。

##### (2) 事業の実施状況

協力町である篠栗町を指定し、篠栗町教育委員会並びにモデル校である篠栗北中学校及び北勢門小学校を支援し、篠栗町の取組の成果と課題の分析等の調査を行った。篠栗町においては、小・中学校の教職員が9年間の見通しをもって子供を育てることが意識できるように、小・中の合同研究会を実施している。

また、篠栗北中学校及び北勢門小学校において研究発表会を開催することにより、小中一貫教育のとらえや目的、取組の成果の普及を図った。

さらに、県内外の先進的な取組事例の収集、福岡県小中一貫教育推進協議会における小中一貫教育の在り方についての協議を通して、福岡県小中一貫教育の手引を作成し、県内の市町村（学校組合）教育委員会、各小・中・義務教育学校、関係機関に配布した。

##### (3) 事業の成果

篠栗町立篠栗北中学校及び北勢門小学校小中一貫教育研究発表会の開催により、小中一貫教育のとらえや目的、取組の成果を、県内に普及することができた。特に、協力町の篠栗町の小・中学校の教職員は、地域とともに9年間で子供を育てるという意識をもって教育活動に取り組むことができるようになってきている。小中一貫教育を推進することで、家庭・地域との連携、協働が進んでいる。

また、福岡県小中一貫教育推進協議会において、先進的に小中一貫教育を推進してきた市町教育委員会や学校長との協議により、小中一貫教育カリキュラムや小中一貫教育を充実させるための家庭・地域との連携、協働の在り方などについて明らかにすることができた。

さらに、市町村教育委員会や学校の小中一貫教育実施に係る取組を支援するための、福岡県小中一貫教育の手引を作成することができた。

## (4) 今後の取組予定

○ 福岡県小中一貫教育の手引を活用した支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の先進的な取組事例の情報収集及び情報の発信</li> <li>・小中一貫教育の導入を検討する市町村への支援</li> </ul>
○ 県内における小中一貫教育の取組の状況把握
○ 管理職研修会等における協力町の取組成果の普及

## 4. 取組 I の実績

## (1) 取組のねらい

文部科学省が定める小中一貫教育推進事業委託要項に基づき、小中一貫教育実施に係る効果的な取組に関する調査研究を行い、県内の市町村における小中一貫教育の推進に資する効果的な取組の普及を図る。
---

## (2) 取組 I の実施状況 (平成30年度)

4月	
5月	○ 「福岡県小中一貫教育の手引」掲載の取組事例作成依頼 ○ 「福岡県小中一貫教育の手引」掲載の取組事例集約
6月	○ 「福岡県小中一貫教育の手引」作成 ○ 「福岡県小中一貫教育推進協議会」準備
7月	○ 「福岡県小中一貫教育推進協議会」準備 ○ 県内先進校視察 (宮若市立宮若西小・中学校)
8月	○ 「福岡県小中一貫教育推進協議会」開催 ・【報告】生涯学習社会の基礎を培う教育活動の創造 (篠栗町教育委員会) ・【協議】福岡県小中一貫教育の手引 (案) について ○ 「協力町幼小中一貫教育研修会」指導
9月	○ 「福岡県小中一貫教育の手引」作成
10月	○ 「福岡県小中一貫教育の手引」作成
11月	○ 「協力町小中一貫教育研究発表会」開催
12月	
1月	
2月	○ 「福岡県小中一貫教育の手引」作成
3月	○ 「福岡県小中一貫教育の手引」配布

## (3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「福岡県小中一貫教育の手引」作成及び配布</li> <li>○ 福岡県小中一貫教育推進会議における、小中一貫教育の在り方に関する協議</li> <li>○ 県内の先進的な取組事例の収集</li> </ul> <p>【モデル校（篠栗北中学校及び北勢門小学校）における成果指標の達成状況】 ( )は昨年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用できる児童生徒の割合 97% (+3)</li> <li>・ 「問題解決・発見・創造力」等を身につけた児童生徒の割合 72% (-2)</li> <li>・ 「将来目標」「自尊感情」の質問項目の肯定的回答の割合 72% (+3)</li> <li>・ 不登校児童生徒出現率 1.8% (-0.5)</li> <li>・ 「郷土愛」の質問項目の肯定的回答の割合 86% (+15)</li> <li>・ 「社会貢献意欲」の質問項目の肯定的回答の割合 55% (+5)</li> <li>・ 「達成感」の質問項目の肯定的回答の割合 68% (+10)</li> <li>・ 保護者を対象にした取組への肯定的回答の割合 71% (-11)</li> </ul>
---

## (4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福岡県小中一貫教育の手引を活用した支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中一貫教育の先進的な取組事例の情報収集及び情報の発信</li> <li>・ 小中一貫教育の導入を検討する市町村への支援</li> </ul> </li> <li>○ 県内における小中一貫教育の取組の状況把握</li> </ul>
---

## 5. [取組Ⅱ]を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	篠栗町教育委員会	
Ⅱ-		
Ⅱ-		
Ⅱ-		
Ⅱ-		

## 事業成果報告書

## 〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－１

1. 市町村教育委員会等の名称

:

住所	: 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗 4855番地5
代表者職・氏名	: 教育長 西 邦彰

2. 取組の名称

: ひと・社会に貢献しながら自分を高め続けることができる子どもの育成

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

小中一貫教育のコア・カリキュラムを通して育成する力を「自己実現力」「人間関係形成力」「社会参画力」の3能力に焦点化し、「ひと・社会に貢献しながら自分を高め続けることができる子ども」を4・3・2の学年段階の系統的な指導を通して育成する。

①「篠栗町志教育カリキュラム」を実践し、指導内容・方法を検証するとともに、カリキュラムと指導の改善を行う。

②小中合同行事、地域貢献活動を実施するための学校・地域・家庭の連携についてのしくみを構築する。

③篠栗町小中一貫教育について、第一期における成果を全県を対象に発表し、モデル校区が実施した事業や取組等を町全体で共有する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成30年度）

月	実施内容	実施主体
4月		
5月	○第1回校区别幼小中合同研修会（各校区主催） ・平成30年度計画・方針 ・組織確認、部会別協議 ○第1回町内小中一貫教育コーディネーター研修会（教育委員会主催：5月23日） ・本年度事業計画審議	篠栗町志教育カリキュラムに基づく実践（小中合同行事・地域貢献活動等）
6月	○第1回篠栗町小中一貫教育推進協議会（本町教育委員会主催：6月8日） ・平成30年度事業計画の説明（本町教育委員会・各校区） ○「よるこびとふれあいのまちづくりフォーラム」（本町教育委員会主催：6月16日） ・テーマ～これからの地域と学校「幼小中一貫教育の取組から」 （社会教育団体・PTA関係・幼小中学校全職員参加）	
7月	○第2回小中一貫教育コーディネーター研修会（本町教育委員会主催：7月2日） ・幼小中夏期全員研修会の打合せ ○篠栗北小中一貫校区児童生徒アンケート・保護者アンケート実施（7月実施） ○研究発表会の案内送付《第1次》（篠栗北中・北勢門小）	
8月	○第1回福岡県小中一貫教育推進協議会（県教育委員会：8月7日） ・平成30年度前期実施事業報告及び後期計画についての審議 ○町内幼小中学校合同夏期研修（本町教育委員会主催：8月22日） ・講話・校区别分科会（※町内幼小中全職員・私幼・保育園職員・地域・PTA） ○第2回校区别小中合同研究会・校区别小中一貫校区推進協議会（校区别実施） ・中間報告、後期事業実践についての内容・方法の審議、部会別協議	
9月	○研究発表会の案内送付《第2次》（篠栗北中・北勢門小）	
10月	○篠栗町立篠栗北中学校・北勢門小学校研究発表（文部科学省指定最終報告：10月17日） ・研究紀要作成、配布 ○第3回小中一貫教育コーディネーター研修会（宗像地区発表会参加：10月26日） ・小中一貫教育先進校視察	

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○篠栗小中一貫校区児童生徒アンケート・保護者アンケート実施</li> <li>○第3回校区別小中一貫教育推進協議会（校区別実施）</li> <li>・研究発表会成果報告（成果と課題・指導案・授業、取り組み等の実際）</li> <li>・各校区事業報告</li> <li>○小中一貫教育全国サミット参加inおおつち（篠栗北中職員参加：11月9/10日）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第4回小中一貫教育コーディネーター研修会（本町教育委員会：12月18日）</li> <li>・各校区事業報告、次年度の計画審議</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区別小中一貫教育コーディネーター会議（各校区実施）</li> <li>・本年度反省、次年度計画</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回篠栗町小中一貫教育推進協議会（本町教育委員会主催：2月4日）</li> <li>・小中一貫教育推進事業（第Ⅱ期）協議</li> <li>・アンケート結果の分析、考察</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文部科学省事業報告</li> </ul>

## (3) 取組の成果

<p><b>【取組①について】(資料:研究紀要P.33~36、P.39~49)</b></p> <p>○本年度新たに一貫校区で「志教育カリキュラム部会」を組織し、「篠栗町志教育カリキュラム(平成28年度作成・29年度改訂)」を、さらに実動しやすいものにするための再編成作業を行い、改善することができた。</p> <p>○このカリキュラムをコアとし、篠栗北小中一貫校区では、資質・能力を重点的に指導する教科についての系統性を重視した指導内容・方法を共有し実施することができた。</p> <p><b>【取組②について】(資料:研究紀要P.27~49)</b></p> <p>○一部教科等の授業における小学校への中学校教師乗り入れ授業の実施。</p> <p>○「志教育カリキュラム」における小中合同活動の充実(あいさつ運動・地域貢献活動)        〈中学校体育会への小学生5,6年生参加〉〈中学校部活動生による小学校運動会の部活動行進〉〈中学生による小学校運動会ボランティア〉〈小中合同合唱〉<u>〈小中合同避難訓練等の実施(本年度から)〉</u>  <u>〈一日体験入学方式による中学校新入生説明会の実施(本年度から)〉</u></p> <p>○昨年度実施の取組の充実に加え、本年度新たに実施した取組により、さらに小中の児童生徒の交流が盛んになり、小中の教員同士の連携が強化された。</p> <p>○地域貢献活動を小中合同で実施するにあたって、校区別の協議会を主体的に開催し、地域や家庭、学校との連携が進んだ。</p> <p><b>【取組③について】</b></p> <p>○昨年度の発表(2年次)に引き続き、平成30年10月17日、篠栗北中学校・北勢門小学校が合同で3年間の研究成果を全県を対象に発表した。発表会には多くの参加があり、篠栗型小中一貫教育について全県へ向けて発信するとともに、町内の幼小中全ての教員が参加し、篠栗型(幼)小中一貫教育に対する共通理解を深めることができた。</p> <p><b>【モデル校における成果指標の達成状況(評価方法:平成30年7月調査篠栗町アンケート)】</b></p> <p>①ICTを活用できる児童生徒の割合・・・(97%)〈+3〉</p> <p>②「問題解決・発見・創造力」等を身につけた児童生徒の割合・・・(72%)〈-2〉        (問題解決力68%、論理的説明等:68%、客観的認識等:81%)</p> <p>③「将来目標」「自尊意識」の質問項目の肯定的回答の割合・・・(72%)〈+3〉        (将来目標:80%、自己肯定感:76%、自己有用感:61%)</p> <p>④不登校児童生徒出現率(小学校:0.65% 中学校:4.2%)・・・(1.8%)〈-0.5〉</p> <p>⑤「郷土愛」の質問項目の肯定的回答の割合・・・(86%)〈+15〉</p> <p>⑥「社会貢献意欲」の質問項目の肯定的回答の割合・・・(55%)〈+5〉</p> <p>⑦「達成感」の質問項目の肯定的回答の割合・・・(68%)〈+10〉</p> <p>⑧保護者等を対象にした取組への肯定的回答の割合・・・(71%)〈-11〉        (積極的:56%、地域貢献:79%、取組肯定:80%)</p> <p style="text-align: right;">※〈 〉は昨年度比</p>
--

## (4) 今後の取組予定

4月	第1回校区別篠栗町小中一貫教育推進協議会(第2期事業計画説明)
5月	第1回小中一貫教育コーディネーター研修会 第1回篠栗町小中一貫教育推進協議会(全小中学校・地域づくり参加 年2回) 第1回校区別小中合同研修会(年2~3回)
6月	「よろこびとふれあいのまちづくりフォーラム(社会教育団体事業)」の実施 (学校・家庭・地域が一体となった研修)
7月	第2回小中一貫教育コーディネーター研修会 アンケート実施 アンケート結果の分析、考察
8月	幼小中学校合同研修(実践交流会 町内全小中学校・一般参加)
10月	第3回小中一貫教育コーディネーター研修会
11月	小中一貫教育全国サミット参加(予定)
12月	第4回小中一貫教育コーディネーター研修会
2月	第2回篠栗町小中一貫教育推進協議会 事業成果のまとめ